

▼今月の「ポピー」の国語で学習するおもな内容と大切なことがあります。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 「生きものクイズ」で しらせよう □ 62~65

クイズを作るとときは、「問題」と「答え」は短く、「説明」は、調べたことをくわしく書こう。



- 身の回りの生き物について調べ、クイズを作ります。
- 1 クイズにしたい生き物を決め、くわしく調べる。
- 2 「生きものクイズカード」を作る。
- 問題(表)：三択問題や○×問題等
- 答えと説明(裏)
- 4 3 作ったクイズを読み返す。
- 友だちと「生きものクイズカード」を交換して読み合つ。

4年 短歌の世界

□ 66~71

秋来ぬと田にはさやかに見えねども
風の音にぞおどろかれぬる
藤原敏と行き



- 短歌は、ひびきのよい言葉やリズムで感動をうたっています。
- 短歌
- ▼五・七・五・七・七の三十一音。
- ▼千三百年以上も前から作られている。
- 時代を感じてひびいてくる人々の心を味わいます。

6年 雪は新しいエネルギー □ 38~51

地域ごとの自然エネルギーを見直してみよう、と締めくくられているよ。



- 「雪」を新しいエネルギー資源にする試みについて書かれた説明文です。
- 現在のエネルギー問題を踏まえながら、筆者の考えをまとめます。
- 雪＝冷熱エネルギーであり、再生可能エネルギーである。
- 雪の保存方法は見つかったが、雪の利用は雪国に限られるし、エネルギー利用の効率は悪い。
- 雪の利用は、新しいエネルギー社会を作り出す第一歩として重要である。

1年 すずめの くらし

□ 58~63

初めての説明文です。問い合わせの文と、それに答えている文などを読み分けることが大切だよ。



生き物について書かれた易しい読み物に、ふだんから触れる機会を持たせるとよいでしょう。



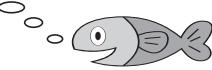
- わたしたちの身近にいるすずめの暮らしについて書かれた説明文です。
- 写真(さし絵)をよく見て、すずめが何をしているのかを考えます。
- 野原にいるすずめ
- 水たまりにいるすずめ

3年 めだか

□ 48~57

- めだかの身の守り方と体のつくりについて書いた説明文です。
- 文章の構成に気をつけて読み取ります。
- 第一に：小川や池の水面近くでぐりぐりす。
- 第二に：すばやく泳ぐ。
- 第三に：小川や池の底にもぐりて、水をにぎらせる。
- 第四に：何十匹も集まって泳ぐ。
- 体のつくり
- 体が小さい。
- 四十度近くまで水温が上がりても耐えられる。
- 海水にも耐えられる。

だから小さな水たまりでも、海に流されても生きられるんだよ。



5年 言葉と事実

□ 46~55

- 一つの事実でも、人それぞれの立場や感じ方によってさまざま受け取り方があるということについて、言葉と事実の関係を通して書かれた説明文です。
- めだかの身の守り方と体のつくりについて書いた説明文です。
- 文章の構成に気をつけて読み取ります。
- 第一に：小川や池の水面近くでぐりぐりす。
- 第二に：すばやく泳ぐ。
- 第三に：小川や池の底にもぐりて、水をにぎらせる。
- 第四に：何十匹も集まって泳ぐ。
- 体のつくり
- 体が小さい。
- 四十度近くまで水温が上がりても耐えられる。
- 海水にも耐えられる。

一つの事実でも、立場が違えば正反対に見えるんだジョー!

